

現場で何を判断し、
何をやるべきかがわかる!

プロジェクトマネジメント 実践コース

開催日時	2026年 8月27日(木)~28日(金)	大阪会場	
	2027年 1月18日(月)~19日(火)	オンライン	各回とも 9:30~17:30
対象	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントに携わり始めた実務者 一定の経験はあるが、知識ややり方を整理したい方 現在プロジェクトマネジメント業務を担っており、進め方に悩みを感じている方 		
講師	橋 金太郎 氏 GPMコンサルティング合同会社 代表社員 <small>川崎重工業(株)にて、化学プラントEPCから航空エンジン国際共同開発までを一貫して経験したエンジニア出身PM。設計・調達・建設/開発・量産の両領域を跨いだ実務経験を基盤に、PM構造設計・意思決定設計・実行回復を専門とする。</small>		
参加料(税込)	法人会員：114,400円/1名 会員外：138,050円/1名 <small>※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。</small>		

ねらい	<p>「同じような議論が会議で繰り返される」「スケジュールに対し進んでいるのか遅れているのかわからない」「常にリソースが足りていない」——プロジェクトで垣間見えるこうした問題の多くはプロジェクトマネジメントに原因があります。</p> <p>本コースは米国プロジェクトマネジメント協会が2025年に発行した最新版 PMBOK® Guide 第8版をベースに、製造業・重工業の大型プロジェクトで実務経験を持つ講師が「現場で何を判断し、何をやるべきか」を再現可能な形で提供し、受講翌日からご自身のプロジェクトに即適用できる力を身につけます。</p>	受講で期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントにおける役割と責任範囲を体系的に理解できる プロジェクトの仕事/そうでない仕事を切り分けられるようになる プロジェクトマネジメントが担うべき業務に集中できるようになる プロジェクトとして実施すべきタスクを、具体的な行動レベルで認識できる 自社のプロジェクトマネジメント力の底上げ
-----	---	------------	---

■ プログラム	9:30~17:30 [昼食] 12:00~13:00
【事前課題】自身のプロジェクトの棚卸 ~机上の知識を実践に落とし込むための準備~	【2日目】
【1日目】	5 ファイナンスパフォーマンスドメイン 演習 ~意思決定ができる管理会計を確立する~ ・キャッシュフローと管理会計で人が動く ・コスト見積りとコストベースラインの策定 ・EVM (Earned Value Management) の基礎 ・ライフサイクル全体のコスト視点
1 プロジェクトマネジメント導入 ~プロジェクトマネジメントの仕事とその必要性~ ・私はなぜプロジェクトマネジメントを教えているのか ・プロジェクトの仕事とは何なのか ・プロジェクトの多様性を理解する ・プロジェクトマネジメントをする必要があるのか ・PMBOKの紹介とTailoringの重要性	6 ステークホルダーパフォーマンスドメイン ~ステークホルダーを制する者がプロジェクトを制する~ ・特定・分類(権力/関心マトリクス)→現状の関与度を把握する ・コミュニケーションの種類と頻度→働きかけの方法を設計する ・ステークホルダーを育てる→望ましい関与度へ変化させる ・会議体によるガバナンス構造の設計
2 自身のプロジェクトの共有 演習 ~自身の課題意識を再起動する~	7 リソースパフォーマンスドメイン ~チームのパフォーマンスを最大限に引き出す~ ・リソース計画：必要なリソースの見積と取得活動 ・チームを率いるための基本要素とハイパフォーマンスチーム ・チーム環境：リモートとコロケーション ・プレイングマネージャー問題とリソース不足への対処方法
3 スコープパフォーマンスドメイン 演習 ~何をやり、何をやらないかを決める~ ・スコープの定義とプロジェクト憲章・ビジネスケースとの連動 ・ステークホルダーの要求内容の明確化 ・WBS (Work Breakdown Structure) の目的と活用 ・スコープクリープの防止と変更要求への対処	8 リスクパフォーマンスドメイン ~不確実性を制御する~ ・リスクの特性と管理手法の計画 ・リスクの特定：積極的なリスク抽出 ・リスクの評価：リスクに対する共通認識の作り方 ・対策の計画：脅威への対応と機会の最大化 ・リスクモニタリングによる仕組み化
4 スケジュールパフォーマンスドメイン 演習 ~現実に動くスケジュールを作り、維持し続ける~ ・なぜスケジュールは必要なのか? ・スケジュールの管理方法を決める。Excel vs MS Project ・作業項目を定義。細分化はどこまでやるべきか ・作業の前後関係をつなぐ。本当に必要な前後関係を見極める ・期間を見積もる。合意可能な期間設定とバッファの考え方 ・スケジュールを成り立たせる。QCDとリスクの引き換え ・スケジュールを作る際のマインドセット	9 リスク登録簿の作成 グループワーク ~チームでリスクを可視化し、共通認識を作る~ ・グループ内のメンバーから1つプロジェクトを選定し、グループメンバー全員でリスク抽出~評価~対策立案まで行い発表する。
	10 まとめ・総括 ~今日から何を变えるか~ ・プロジェクトマネジメントがやるべきことは何なのか? ・リーダーシップについての共通認識